

英語1B (English 1B)					担当教員
					非常勤講師 児玉 一宏
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
外国語	1年次 後期	講義	1.5単位	必修	

【概要】

本授業では、近年の英語学研究の研究成果を踏まえ、現代英語の文法・語法および語彙について言語学的な視点から講義するとともに、適宜アクティブ・ラーニングの手法を取り入れて問題演習を積むことにより、英語運用能力の更なる向上とその定着を図る。英語学習意識の高揚を図り、英語の不思議さ、英語について思索することの面白さを教授したい。

【授業の一般目標】

英語学の知見を活用することで、現代英語の音韻、語彙、文法・語法、構文交替の仕組みについて理解を深めることが本授業の主要な目標である。英語学（たとえば、英語の統語論、英語史、音韻論など）の基礎知識を学ぶことで、英語の構造、意味、機能について理解が深化し、学習者自身が英語の具体的な言語現象に対して、一定の分析や考察を行うことができるようになることを目指したい。また、学習した内容を実際のコミュニケーション活動に活用できるようになること、これも本授業の一般目標である。

【関連する卒業認定・学位授与方針】 DP3・DP4

【準備学習(予習・復習)】

予習復習を合わせて1週あたり150分程度の学習が必要である。予習内容については授業中にその都度指示する。毎回の授業の復習とは別に、英語の基礎力をつけるために、教科書の練習問題を計画的に学習し提出してもらう。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	オリエンテーション	児玉	英語学習の基本について理解する。
2	現代英語の特質	児玉	個別言語としての現代英語の特質について理解できるようになる。
3	英語発達史と現代英語	児玉	英語発達史の概要を学び、現代英語の文法・語彙の諸相を理解できるようになる。
4	基礎英文法(1)	児玉	学習者が誤りやすい文法事項について正確に理解できるようになる。
5	基礎英文法(2)	児玉	学習者が誤りやすい文法事項について正確に理解できるようになる。
6	基礎英文法(3)	児玉	学習者が誤りやすい文法事項について正確に理解できるようになる。
7	英語の発音と文法	児玉	母音の性質や母音・子音の結合など、語の発音についての基礎事項を理解できるようになる。
8	英語の音韻の仕組み	児玉	英語の音韻規則を理解し活用できるようになる。
9	英語の構造(1)	児玉	英語の統語論：英語疑問詞の移動と解釈の仕方について理解できるようになる。
10	英語の構造(2)	児玉	英語の統語論：動詞の自・他と文解釈の曖昧性の相関について理解できるようになる。
11	英語の構文と意味	児玉	構文文法の基本概念である「構文の意味」について理解できるようになる。
12	英語の構文交替(1)	児玉	場所句交替や与格交替など「構文交替」の基本的な仕組みについて理解できるようになる。
13	英語の構文交替(2)	児玉	場所句交替や与格交替など構文交替に課せられる諸制約について理解できるようになる。
14	総合演習	児玉	総復習により授業内容の定着を図る。
15	総括・まとめ		

(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書 A Communicative Grammar of English	友繁義典	南雲堂

【成績評価方法・基準】

期末試験の成績（70%）、授業への積極的な参加態度および課題提出などの平常点（30%）を総合して評価する。

【評価のフィードバック】

講評を教務課が掲示する。